

使用ツール

# ロイロノート

活用シーン

- 視点ごとに分類して考える場面において、思考ツールを用いた。
- 地震被害への備えについての関わり方を吟味する際、個人と保護者の意識調査をロイロノート上で行い、PDFとして保存し、いつでも見られるようにした。

児童の姿・授業の様子、成果等

- クラゲチャートやYチャートを用いる児童が多かった。これらは、視覚的に分かりやすく、児童にとって使いやすかった。一つの事象について、多面的に考察できるようになった。
- 自分の家庭と自分の意識を比較しやすくなったことで、より「自分事」として考えられるようになった。

思考ツール（Yチャート・クラゲチャート）と意識調査（PDFにしたもの）



「地震さいがい」についての  
★自分・家族の間わり方調査★

6/11

調査の目的  
地震時の被害を減らすためには、可能な限り地震発生から逃げ遅れないで、正確に避難し、怪我をしないことが大切です。そのためには、地震発生時の正しい行動を知ることが大切です。自分や家族の意識を調査し、必要に応じて対策を講じます。

目的は、以下の4人から回答をお願いします。

1. 自分自身 2. 自分のお母さん 3. 家族の誰かお父さん 4. 家族の誰かおばあさん

1. 地震発生時の正しい行動や避難場所について、知っている、覚えていたりしなかったか？

自分	1	2	3	4	覚えていない
お母さん	1	2	3	4	覚えていない

2. どこで避難する必要がある避難場所を知っている、覚えていたりしなかったか？  
自分だけで考えることに慣れていますか？

自分	1	2	3	4	慣れていない
お母さん	1	2	3	4	慣れていない

3. 地震発生している、地震発生を少なくするための意識を身につけていたり、準備して置いたりしていませんか？

自分	1	2	3	4	準備していない
お母さん	1	2	3	4	準備していない

意識調査と比較している様子

